

我孫子市環境レンジャー通信
No77
(2020年4月発行)

たまっけ

(発行)
我孫子市環境レンジャー
(連絡先)
我孫子市手賀沼課
04-7185-1484(直通)

「たまっけ」とは、昭和35(1960)年頃まで手賀沼でもたくさん棲んでいたカラスガイのことです。今はほとんど見られません。環境レンジャーは、我孫子の自然環境を市民に伝え、市民といっしょに考え、守り育ててゆくために結成されました。みなさん、いっしょに美しい我孫子を守り育てましょう。

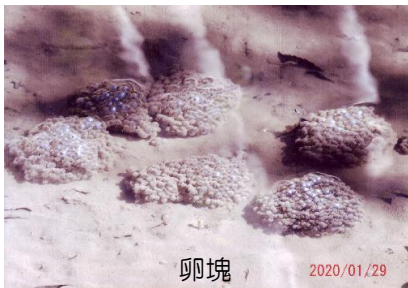
谷津ミュージアムの自然

ニホンアカガエルの産卵

(谷津を愛する会 会長 田島 友昭)

本年も1月末から、岡発戸・都部の谷津ではニホンアカガエルの産卵が始まった。

2月25日頃には約200個以上の卵塊が見つかった。谷津ミュージアムの会でも同様の数の調査報告があった。主な産卵場所は、谷津内のたんぼの水たまり、斜面林下及びポンプ小屋からの水路、その周辺、中央学院高校下のイヌザクラ池、作業小屋横ガマ穂の水たまり、たんぼ広場池等で発見した卵塊の数である。この産卵した新しい卵塊が無くなるのが起きている。無くなった場所周辺の水底に人の足跡が残されていた。この原因は不明である。よくサギが卵を食べていることがあるがバラバラになった卵が残されているのでこれとは違うことである。



卵塊 2020/01/29



オタマジャクシ(卵生) 03/11

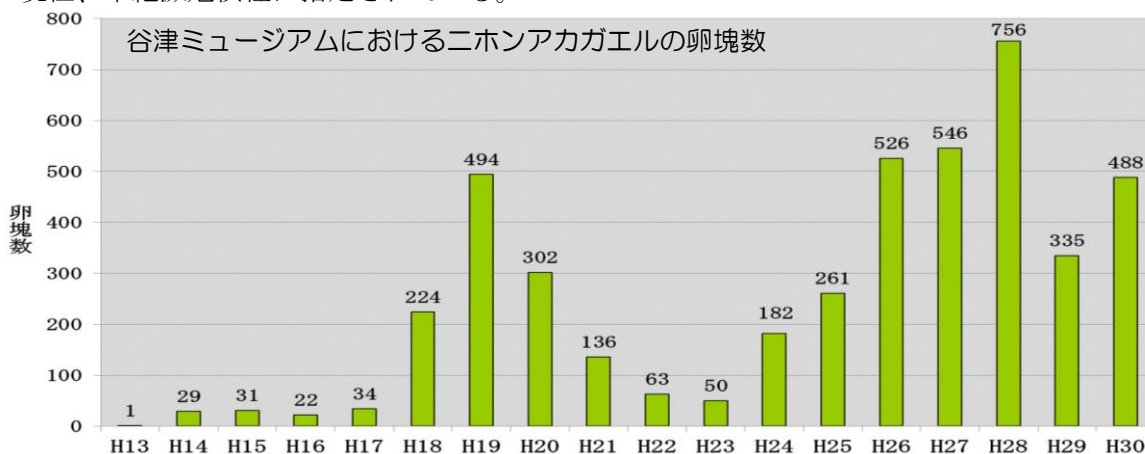


ニホンアカガエル 019/02/20

ニホンアカガエルの卵塊は一つの塊で500~3,000個の産卵数があるとされる。全てがカエルになったら相当数の大変な数であるが野外では植物連鎖の関係がカエルの場合も例外でなく卵を鳥などに食べられ、カエル(幼体)(成体)時ではヘビ類、鳥類、イタチやタヌキなどに捕食される。これとは別に卵塊時に水溜まりが凍ったりして卵が死亡する。また、水溜まりが干し上がり死亡することもある。

3月に入ると多くの卵塊は水溜まりのなかで真っ黒になったオタマジャクシ(卵生)が動き回っている。これから先、5月に入ると小さなカエル(幼体)となり畦など湿地のある場所でみられ約1年でカエル(成体)となり成熟して抱接を行い、子孫を残す。

全国的にニホンアカガエルは減少している発表があるが谷津ミュージアムではこの数年多く見られている。現在、準絶滅危惧種に指定されている。



谷津ミュージアムでは、ニホンアカガエルを指標生物として卵塊数の調査を行っています。一時は卵塊数の減少が見られましたが、様々な試行錯誤を繰り返しながら保全管理を行ってきた結果、2018(平成30)年には488個の卵塊が確認されています。情報提供:我孫子市手賀沼課

環境レンジャー活動報告（ネイチャーイン）**沼畔からの冬鳥観察会 ～手賀沼遊歩道から観察する冬鳥の世界～**

（環境レンジャー 野倉 元雄）

1月26日（日）水の館南側広場に集まったのは子ども4人、大人7人と冬鳥観察の指導をして頂く我孫子野鳥を守る会の皆さん、環境レンジャーの計29人でした。双眼鏡の使い方の指導を受けてから、子ども中心の1時間コースと大人中心の2時間コースに分かれて手賀沼の冬鳥観察に出発です。

出発して直ぐ、私たちの前でツグミが姿を現しました。早速、野鳥を守る会の方が専用望遠鏡（スコープ）をセットしてくれました。スコープを覗くとツグミの淡いグレーのお腹の多くの黒い斑点や、背中のオレンジ色と黒の縞模様が鮮やかでした。カップの像の見晴らし台に進んで沼を見回すと、コブハクチョウ、オオバン、マガモなどを観察できました。野鳥を守る会の方が遠くに魚を主な餌とするタカの仲間のミサゴを見つけ、鋭いくちばし、鉤爪、目なども見ることができました。

遊歩道を進んで行くと、釣堀の近くで上空を10羽ばかりの白く大きな鳥が逆V字型になって飛んでいるのを見ることができました。オオハクチョウの群れです。手賀沼では見ることが少ないのですが、冬になってロシアなど北の国から渡ってきたものです。やがて沼南側の蓮田に降りたので、スコープでじっくり観察できました。コブハクチョウはくちばしがオレンジ色ですが、オオハクチョウはレモンのような黄色をしています。また、遊歩道の先ではサギの仲間では日本で一番大きいアオサギが飛んでいました。



オオハクチョウ@手賀沼下沼



シメ@手賀沼遊歩道

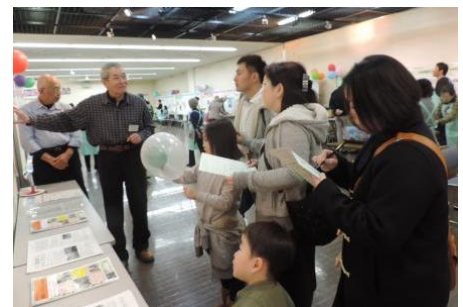
一行は水生植物園まで周囲を観察しながら進み、ヨシの茂みにホオジロ、オオジュリン、アオジなどが餌をついばんだり飛び回ったりする様子を観察しました。1時間コースの目的地である藤棚近くでは、ヨシの隙間の向こうにカワセミを発見、スコープで見ると胸のオレンジ色がとてもきれいで皆が感激です。またカシラダカというちょっと珍しい鳥も見ることができました。2時間コースの人は遊歩道を更に進み、滝下広場に向かいました。滝下広場では、小学生の参加者がクイナを見つけました。昔から日本にいる黒い水鳥ですが、なかなか人前に姿を現さないのがラッキーでした。滝下広場からの帰り道では、カモの仲間のホシハジロ、アトリの仲間のシメ、猛禽類のモズなど多くを観察できました。

水の館に戻って観察した鳥を全員で確認する鳥合せをしたところ、38種類を観察できたことがわかりました。最後に野鳥を守る会の提供による野鳥カードと手賀沼の鳥一覧をもらって解散しました。観察会では心配された雨があがり、全員が事故なく終了でき楽しい時間を過ごせました。

環境レンジャー活動報告**第44回我孫子市消費生活展に参加**

（環境レンジャー 荻野 茂）

2月1日、2日、あびこショッピングプラザで第44回我孫子市消費生活展が『このままでは危ない！私たちの暮らし』をテーマに開催されました。参加した9団体は各々の活動を通した中で私たちの生活改善に役立つ情報や生活環境に生かせる提案をA1サイズのパネル4枚でアピールしました。環境レンジャーとしては初めての参加となりましたが、たまっけ74/75号の特集「プラスチックごみによる海洋汚染の現状、回収困難！そして生態系が崩れる危険にさらされている。」をパネルに表現して出展しました。



熱心に聞いていただきました(^^♪

マイクロプラスチック☹️

それは回収が困難で、そして生態系を脅かす危険性をもった物質です。

（次のページにつづく）

両日の来場者数はスタッフを合わせ合計 785 人となり、スタンプラリーやアンケートを通じて各団体が警鐘していることの理解がより深められたと感じられました。環境レンジャーの出展にも多くの来場者の方が足を止め、パネルの解説に熱心に耳を傾けながら、プラスチックごみが海洋で拡散し、海水塩分や紫外線等で分解されてマイクロプラスチックとなり、鳥類や魚類の誤食で食物連鎖による生態系を脅かす危険性を身近に感じ取っていただきました。そしていま便利さに安住している私たちが生活様式を変える行動が求められていること、プラスチック汚染の現状への理解が浸透したと感じられました。



環境レンジャー活動報告（環境学習） 紙飛行機工作と飛行大会

（環境レンジャー 佐藤 美次）

毎年開催している「紙飛行機工作と飛行大会」は、2月16日（日）アビスタ1階ホールで行われました。当日は朝から小雨のため参加者の出足が心配されましたが、大人15人子ども15人の総数30人の参加となりました。参加者の中には通りがかりに子どもたちの元気な声を聞いて飛び入り参加された家族もいらっしゃいました。

「紙飛行機工作と飛行大会」は、チラシを再利用して作る4種類の紙飛行機、①すいすい飛行機、②すうーと飛ぶ飛行機、③ふわふわ飛行機、④滑空飛行機とケント紙を使用した2種類の紙飛行機、⑤曲技飛行機と⑥ホッチキス・ペグの計6種類の紙飛行機を参加者全員が取り組む工作です。

折り方の説明書を見ながら順番に各種飛行機を作って行きましたが、手早くさっと折り仕上げたしまう人や折り方を何度も確認しながらサポートスタッフの支援を受ける人やボードに貼った折り方手順サンプルと見比べながら作り上げる人など皆さん真剣に取り組んでいました。一つの飛行機を作り終えると試し飛行をして飛び具合を見て翼を微調整して出来ばえを実感していました。

身のまわりのものを再利用して、いろいろなものを作ってみよう

最後はホッチキス・ペグ飛行機の作成です。ホッチキス・ペグとはホッチキスで組み立てゴムを使用して飛ばすペーパーグライダーです。この飛行機は重心と翼のバランスが合えば20秒近い滑空が期待できるとあって大人も子どもたちも真剣に山折り谷折りに手こずりながら取り組んでいました。

完成した紙飛行機を、皆さんで一斉に飛ばしてそれぞれの飛行機の飛行に歓声があがりました。短く感じた2時間でしたが、盛況のうちに終わることができました。



みなさん真剣な表情です(^)/



願いを乗せて飛んで行け！

環境レンジャーのこれからの予定(詳しくは「広報あびこ」を見てね！)

参加費は、すべて無料です。

お申し込み、お問い合わせは、我孫子市手賀沼課(04-7185-1484(直通))まで



お知らせ

※新型コロナウイルスの影響により
変更となる場合があります。

2020年7月28日(火)

環境学習 船上学習

～遊覧船に乗って手賀沼を観察しよう～



時間：午前9時15分～11時15分

場所：手賀沼公園小池ボート乗場前

2020年8月1日(土)

ネイチャーイン

～谷津ミュージアムでのホタル鑑賞～



時間：午後7時～8時30分

場所：谷津ミュージアム

2020年8月6日(木) & 8月13日(木)

環境学習

～紙粘土で花びんを作ろう～



時間：午前9時30分～11時30分

場所：アビスタ工芸工作室

2020年9月26日(土)～27(日)

市民のチカラ祭り



時間：午前10時30分～午後3時

場所：けやきプラザ2階ホール

2020年10月4日(日)

ネイチャーイン 手賀沼水辺探検

～魚を獲って観察しよう～



時間：午後1時～3時

場所：手賀沼フィッシングセンター周辺



《編集後記》

季節が変わり春！今年の環境レンジャーも、ネイチャーインや環境学習など
いろいろな企画を計画中です(^_^)/

いろいろな出会い、そして、たくさんの笑顔を楽しみに！

『たまっけ』へのご意見、ご感想お待ちしております。

(環境レンジャー 継岡 伸彦)